

観光事業におけるICT活用 (「IoTおもてなし環境実現に向けた地域実証」)

- 外国人観光客の集客と消費需要を拡大するために、ICT(スマートフォン、ICカード、デジタルサイネージ、多言語翻訳機等)を活用して、小諸市のインバウンド、観光事業の地域活性化を図る取組。
- 総務省の平成29年度「IoTおもてなし環境実現に向けた地域実証」の取組。

・実施内容:訪日外国人に対するおもてなしを強化するため、デジタルサイネージやスマートフォンを活用した各種サービスを提供し実証データを収集するもの。

「小諸市におけるおもてなしICT実証(小諸城址「懐古園」など観光めぐりと体験企画)」

1. 体験プログラム参加時に受付場所でパスポート情報などのパーソナルデータとICカードを共通キオスク端末「おもてなしステーション」で登録(紐付け)する。
2. 観光動線上の各施設でICカードによるスマート入場を行う。
3. 観光動線上にICカード連動型インタラクティブサイネージを配置する。
4. 配信型サイネージとおもてなしICカード連携を行い4Kモニターでの多言語観光案内を行う。

・実証期間:平成29年11月3日～平成29年12月31日 実施主体:一般社団法人こもろ観光局

・実施支援団体:小諸市、小諸商工会議所、有限責任事業組合さくりすITサポート(トータルアドバイスとサイネージ運用)、合同会社江口靖二事務所、軽井沢トラベル&コンサルティング(企画、販売)、株式会社アイク(プライバシーマーク所有)

実証の対象は外国人のお客様で、スマートフォン、ICカード、デジタルサイネージ、多言語翻訳機器といった情報伝達技術(ICT)を通じて、実証期間中に約100名の外国人のお客様に小諸におこしいただき、小諸ならではのプログラム(着物の着付け体験、人力車体験、そば打ち体験、弓道体験、リンゴ狩り、温泉等)をお楽しみいただくことを目指している。

パーソナルデータ登録



カードにパスポートデータ蓄積

パスポート情報をICカード登録
自動的に取得するデータは、ビザの種類、発行国、姓、名、旅券番号、国籍、生年月日、性別、有効期限満了日、写真データ(ICパスポートの場合)。
手入力にて登録するデータはPIN番号、電話番号、優先言語、食の禁忌、アレルギー。

観光ツアーでモニター募集を行う。
小諸城址懐古園
小諸高原美術館
布引観音堂

体験ツアー
そば打ちなど

懐古園/小諸高原美術館/布引観音堂

情報配信型サイネージ

インタラクティブ型サイネージ



そば屋などの店舗



レストランメニューの多言語化指差しメニュー化
料理説明をポップアップ表示、音声読み上げ
多言語(日本語・英語・中国語繁体と簡体・韓国語・タイ語)対応